9 木工事

## ①一般事項

適用範囲　この章は、内装及び外装の木下地、木造作及び木仕上の工事に適用する。　(9.1.1)

表面の仕上げ　(9.1.3) 表9.1.1

製材・造作用集成材の機械加工　・A 種　・B 種　・C 種

## ②木 材

(a) 製材

(1) 「製材の日本農林規格」による製材　(9.2.2) (a)

下地用針葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 等 級 | 形状 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・2級 ・ | 図示 | ※A種 |
| | | | | | |
| | | | | | |

造作用針葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 等 級 | 形状 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・無節 ・上小節 ・小節 | ※図示 | ※A種 |
| | | | | | |
| | | | | | |

広葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 等 級 | 形状 | 材面の品質 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・特等 ・1等 ・2等 | 耳付材 | ・無節 ・上小節 ・小節 | ・10 ・13 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(2) 「製材の日本農林規格」以外の製材　(9.2.2) (a)

下地用針葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 材面の品質 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※図示 | | | ※A種 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

造作・仕上げ用針葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 材面の品質 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※図示 | | | ※A種 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

造作・仕上げ用広葉樹製材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法（mm） | 材面の品質 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 含水率(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※図示 | | | ※A種 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(b) 造作用集成材

(1) 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　(9.2.2 (b))

造作用集成材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 形状（mm） | 見付け材面の品質 | 含水率（%） |
|---|---|---|---|---|
| | | | ※1等 | ※15 |
| | | | | |
| | | | | |

化粧ばり造作用集成材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | | 形状（mm） | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板： | 芯材： | | | ※1等 |
| | | | | | |
| | | | | | |

化粧ばり構造用集成柱 G

| 施工箇所 | 樹 種 | | 形状（mm） | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板： | 芯材： | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(2) 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材　(9.2.2 (b) (2))

造作用集成材 G

| 施工箇所 | 形状（mm） | 見付け材面の品質 | 含水率（%） |
|---|---|---|---|
| | | ※図示 | ※15 |
| | | | |
| | | | |

化粧ばり造作用集成材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板： 芯材： | | | ※図示 | ※15 |
| | | | | | |
| | | | | | |

化粧ばり構造用集成材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板： 芯材： | | | ※図示 | ※15 |
| | | | | | |
| | | | | | |

(3) 造作用単板積層材　(9.2.2) (c)

造作用単板積層材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 厚さ（mm） | 表面の化粧加工 | 防虫処理の適用 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ・無（・1等 ・2等 ・3等）<br>・有（・天然木化粧 ・塗装） | |
| | | | | |
| | | | | |

造作用単板積層材 G

| 施工箇所 | 樹 種 | 厚さ（mm） | 表面の化粧加工 | 含水率（%） | 防虫処理の適用 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・無（・1等 ・2等 ・3等）<br>・有（・天然木化粧 ・塗装） | ※14 | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 3.合板等

(1) 下地合板　(9.2.3)

普通合板 G

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 防炎処理の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ※1類・2類 | 広葉樹 ※2等以上・1等<br>広葉樹 ※C-D以上 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

構造用合板 G

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 等 級 | 表板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理の適用 | 強度等級の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ※2級・1級 | | ※1類・特類 | ※C-D | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

9-2 木工事

## ④接合具等

## 5. 耐候性、防腐、防蟻、防虫処理

## ⑥屋根回り

## 7. 外部開口部回り

## 8. 内部開口部回り

## ⑨内部床回り

## ⑩外壁回り

(2) 天然木化粧合板

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 防炎処理の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・1類・2類 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

(3) 特殊加工化粧板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 表面性能 | 化粧加工の方法 | 防虫処理の適用 | 難燃処理の適用 | 防炎処理の適用 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・1類・2類 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

(4) パーティクルボード

| 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ※13タイプ | ※P又はM | | ※15 |
| | | | | | |
| | | | | | |

(5) 構造用パネル

| 施工箇所 | 等 級 | 厚さ（mm） |
|---|---|---|
| | ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 | |
| | | |
| | | |

(a) 釘　(9.2.4)

JIS規定以外の釘の材質、寸法、形状種　※図示 ・

釘打ち本数、斜め打ち場所　※図示

造作材化粧面の釘打ち　・※隠し釘打ち　・釘頭埋め木

・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し

(b) 木ねじ

JIS規定以外の木ねじの材質、寸法、形状　※図示 ・

耐候性処理　木材保護塗料塗り（WP）　種別・A種　※B種　(9.3.1)

防腐、防蟻処理　適用　・木造標準仕様書 9.3.2による。　(9.3.2)

・（　　）薬剤、使用量等の記録を提出する。

ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理　(9.3.2 (4))

・適用部位：（　　）

防虫処理　・適用部位等：（　　）　(9.3.3)

軒先、けらば回り　(9.4.1)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法(mm) | その他 |
|---|---|---|---|
| 鼻隠し | | | |
| 破風板 | | | |
| 広小舞, 登りよど | | | |
| 面戸板 | | | |

屋根下地　(9.4.2)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法(mm) | その他 |
|---|---|---|---|
| 瓦棒葺心木 | | | |
| 通気垂木 | | | |
| 屋根断熱工法の断熱材 | 発泡プラスチック保温材　：厚さ　mm | | |

軒天井下地　(9.4.3)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法(mm) | その他 |
|---|---|---|---|
| 野縁, 野縁受け | | | |
| 下地板 | | | |

アルミニウム製建具, 樹脂製建具, 木製建具回り下地材、受材　(9.5.1)

・樹種：（　　）・寸法：（　　）mm

外部出入口木製建具回り木製枠　(9.5.2)

・樹種：（　　）・寸法：（　　）mm

出入口下枠　・ステンレス製　（寸法, 形状：図示　）　(9.5.2)

・花崗岩　（種類, 寸法, 形状：図示　）

外部額縁材　・樹種, 寸法　※図示 ・　(9.5.3)

出入口回り木製枠　・樹種：（　　）・寸法：（　　）mm　(9.6.1)

内部窓枠材　・樹種：（　　）・寸法：（　　）mm　(9.6.2)

床下地　Ⓣ下地用合板　（厚さ：※12mm ・　）　(9.7.1)

・パーティクルボード　（厚さ：15mm ・　）

内部床板張り用製材　・樹種：（　　）・厚さ：（　　）mm　(9.7.2)

上がりがまち　・樹種：（　　）・寸法, 厚さ：（　　）mm　(9.7.3)

外壁下地材　(9.8.1)

(a) 胴縁　・樹種：（　　）・寸法, 間隔：（　×　、@　）mm

・防腐、防蟻処理：（・適用する　・適用しない）

(b) ラス下地板

・留め付け釘　・種類：（　　）・寸法：（　　）

(c) 下地用合板

・防腐、防蟻処理：（・適用する　・適用しない）

・留め付け釘　・種類：（　　）・寸法, 間隔：（　　, @　　mm）

(d) 通気胴縁

・防腐、防蟻処理：（・適用する　・適用しない）

(e) 通気金物

・材質, 形状, 寸法　※図示 ・

外壁通気構法下地　(9.8.2)

・支持荷重が大きくなる場合の通気胴縁接合具、留付け間隔　※図示

・横通気胴縁工法　胴縁間隔：（@　mm）

・通気胴縁以降の外壁仕上の適合下地　※図示

外壁下地板張り　(9.8.3)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 |
|---|---|---|
| 押縁下見板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 南京下見板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 羽目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 目板付縦羽目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 敷目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| | | |

外壁造作　(9.8.4)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 |
|---|---|---|
| 付け土台 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 雨押え | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 見切り縁, 笠木, 外部回り縁 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 隠ひさし | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 霧除けひさし | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 腕木ひさし | ※図示 ・ | ※図示 ・ |

9-3 木工事

## ⑪内部壁

内部壁　(9.9.1~9.9.5)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 |
|---|---|---|
| 胴 縁 | ※図示 ・ | ※図示 ・　・間隔@ |
| 羽目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 目板付縦羽目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 敷目板張り | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 幅 木 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 回り縁 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 吊 木 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 吊木受け | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 野 縁 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 野縁受け | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 敷目天井板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 打ち上げ天井板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |

## 12. 和室の造作

和室造作材　(9.10.1~9.10.5)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 |
|---|---|---|
| 柱 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 敷居 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| かもい | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 塗込め貫 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 畳下地板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 畳寄せ | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 竿縁天井板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 格縁天井板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |

床の間回り　(9.10.7)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 |
|---|---|---|
| 床 柱 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 床がまち | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 床 板 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 落し掛け | ※図示 ・ | ※図示 ・ |
| 床脇棚 | ※図示 ・ | ※図示 ・ |

柱　・背割不要の処理

10 防水工事

## ①一般事項

適用範囲　(10.1.1)

この章は、FRP系塗膜防水工事, シーリング工事, 透湿防水シート工事, 防水テープ工事及びケイ酸質系塗布防水工事に適用する。

## 2. FRP系塗布防水

ルーフドレイン　・FRP系塗布防水用ルーフドレイン　(10.2.2)

・鋳鉄製ルーフドレイン

下地材　(10.2.4)

| 名 称 | 樹 種 | 寸 法 (mm) | その他 |
|---|---|---|---|
| 根太掛 | ・ | ・ | ・防腐, 防蟻処理 |
| 根 太 | ※杉 ・ | ※45×55　@300程度 | ・防腐, 防蟻, 防虫処理 |

下地合板　(10.2.4)

| 名 称 | 樹 種 | 厚さ (mm) | 接着の程度 | その他 |
|---|---|---|---|---|
| 構造用合板 | ・ | ※12 ・ | ※特類 ・ | ・防虫処理 |
| 下地用合板 | ・ | ※12 ・ | ※1類 ・ | ・防虫処理 |

水張り試験　・行う　・行わない　(10.2.4)

## ③シーリング

シーリングの施工箇所　※図示 ・　(10.3.2)

両面粘着防水テープの幅　※50mm以上　・75mm以上　・100mm以上

## 4. バルコニーの手すり笠木

## 5. ケイ酸質系塗布防水

材質・固定方法等　※アルミニウム製とし製造メーカー仕様による。　(10.4.3)

・図示　(10.5.1)

| 防水層の種別 | 施工箇所 |
|---|---|
| ※C-UI | 床下配管ピット(PF板面以外) |
| ・C-UP | |

11 石工事

## 1. 適用範囲

## 2. 施 工

## 3. 石 材

## 4. 施 工

## 5. 床及び階段の石 張 り

この章は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」10章「石工事」による。

石材の割付　※標準仕様書10.1.3(a)(1)(2)による　・図示　[10.1.3]

粗面仕上げのみの込み部分の仕上げ　・図示　[10.1.3]

屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ　[10.1.5]

・行う（使用箇所　※ すべて　・　）　・行わない

天然石　[10.2.1][表10.2.1~2]

| 施工箇所 | 品 質 ・一等品 ・2等品 | 石材の種類 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面仕上げ | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

外壁湿式工法　※ [10.3.2][10.3.3]による　・図示による　[10.3.2][10.3.3]

内壁空積工法　※ [10.4.2][10.4.3]による　・図示による　[10.4.2][10.4.3]

乾式工法　※ [10.4.2][10.4.3]による　・図示による　[10.5.2][10.5.3]

石裏面処理　・適用する　裏打ち処理　・適用する　[10.3.2][10.4.2][10.5.2]

床石張りの裏面処理　・行う　階段石張りの裏面処理　・行う　[10.6.2][10.6.3]

目地幅(mm)・図示　シーリング材・適用する　目地位置　※[10.6.2]による　・図示

12 タイル工事

## 1. 適用範囲

## 2. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

## ③陶磁器質タイル

## 4. あと張り工法

この章は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」11章「タイル工事」による。

目地位置　※ 標準仕様書 表11.1.1による(外壁の場合)　[11.1.3]

・図示

タイルの種類　[11.2.2][11.3.2][11.4.2]

| 主な用途による区分 | 形状寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施釉 | 無釉 | 役 物 有 | 無 | 色 標準 | 注文 | 耐凍害性 有 | 無 | 裏足有無 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 段鼻タイル | 100 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | |

役物：標準的な曲りの役物は一体成型とする。　[11.2.2][11.3.2][11.4.2]

試験張り　・行う　※ 行わない　[11.2.2][11.3.2][11.4.2]

見本焼き　・行う　※ 行わない　[11.2.2][11.3.2][11.4.2]

[11.2.7][表11.2.3][11.3.7][表11.3.2]

| 種 別 | タイルの大きさ | 工 法 |
|---|---|---|
| 内装タイル | | ・ 改良積上げ張り<br>※ 壁タイル接着剤張り |
| 外装タイル | | ※ 密着張り<br>・ 改良積上げ張り<br>・ 改良圧着張り<br>・ 壁タイル接着剤張り |
| 内装タイル以外のユニットタイル | | ・ マスク張り<br>・ モザイクタイル張り<br>・ 壁タイル接着剤張り |

素地面の処理、下地モルタルの工法　[11.2.7][11.3.7][11.4.4]

| 適用タイル | 素地面の処理の工法 | 下地モルタルの工法 |
|---|---|---|
| 内装タイル | ・ 素地のまま<br>・ | ※ 標準仕様書15.2.5による<br>・ |
| 外装タイル | ・ 素地のまま<br>・ | ※ 標準仕様書15.2.5による<br>・ |
| 内装タイル以外のユニットタイル | ・ 素地のまま<br>・ | ※ 標準仕様書15.2.5による<br>・ |

13 屋根及びとい工事

(1節 一般事項)

## 1. 適用範囲

この章は、木造の建築物で、金属板葺、粘土瓦葺、スレート葺及びアスファルトシングル葺並びにとい工事に適用する。　(13.1.1)

(2節 下地及び下葺)

## 2. 材 料

下葺材料　※ 改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）　(13.2.2(b))

・アスファルトルーフィング940

改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策　・行う

(3節 金属板葺)

## 3. 材 料

屋根金属板の種類及び厚さ　(13.3.2(a))(表13.3.1)

※JIS G 3322 屋根用コイル　厚さ0.4mm

・

特殊釘の種類、形状、寸法等：・　(13.3.2(b))(表13.3.2)(表13.3.3)

※本造標準仕様書13.3.2（b）による。

・

耐風圧性能　建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法

## 4. 平葺(一文字葺)

葺板の裁ち寸法　・12枚切り　・8枚切り　(13.3.4)

一般部吊子間隔　・　mm

棟覆い吊子間隔・　mm 軒先唐草吊子間隔・　mm 棟覆い釘間隔・　mm 軒先唐草釘間隔・　mm

雪止め　・設ける　・設けない

## 5. 瓦棒葺

(13.3.5)(13.3.6)

| 瓦棒葺 | 材料 | 一般部間隔（mm） 瓦棒 | 吊子 | 留付け釘 | 棟覆い釘間隔(mm) | 軒先唐草釘間隔(mm) | 雪止め | 流れ方向と平行な壁との取り合い |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 心木あり | 銅板以外 | ・ | | ・ | ・ | ・ | ・設ける | |
| | 銅板 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・設けない | |
| 心木なし | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | | ・雨押えを設ける　釘@　mm<br>・雨押えを用いない　吊子@　mm |

特殊工法の場合　・製造所、工法名（　　）

雪止め　・設ける　・設けない　(13.3.7)

特殊工法の場合　・製造所、工法名（　　）

## 7. 立平葺

吊子の工法　・（　　）　(13.3.8)

雪止め　・設ける　・設けない

特殊工法の場合　・製造所、工法名（　　）

(4節 粘土瓦葺)

## 6. 材 料

| 施工箇所 | 種類 製法による区分 | 形状による区分 | 寸法による区分 | 大きさ | 産地 | 役物瓦の種類 | 雪止め瓦 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | ・適用する<br>・適用しない |

瓦桟木の材質、寸法　※ 図示 ・　(13.4.2(b))

棟補強用心材の材質、寸法　※ 杉、ひのき ・　※ 40×30 ・

## 7. 工 法

耐風圧性能　建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法　(13.4.3(a))

野地板が木材以外の場合の桟木の留付け工法等　※ 図示 ・　(13.4.3(c))

粘土瓦葺の棟の工法　・7寸丸伏せ棟　・のし一体棟　・のし積み棟　(13.4.3(e))

(5節 スレート葺)

## 8. 材 料

屋根スレートの材料　(13.5.2(b))

種類、寸法及び形状、色彩等：

役物スレートの種類　※ 図示 ・

雪止め　・設ける　・設けない

## 9. 工 法

耐風圧性能　建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法　(13.5.3(a))

(6節 アスファルトシングル葺)　(13.6.2(b))

## 10. 材料・工法

アスファルトシングルの品質, 形状, 色調, 寸法　：

※図示 ・・

(7節 と い)

耐風圧性能　建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法　(13.6.3(a))

雪止め　・設ける　・設けない　(13.6.3(g))

## 11. 材 料

といの材料の種類及び板厚等：　※図示 ・　(13.7.2(a))

谷どいの板厚：

塩化ビニール樹脂製といの種類, 外形, 厚さ, 長さ等：

※図示 ・・

## 12. といの加工及び取付け

硬質塩化ビニル製集水器及びあんこうの形等の指定：　(13.7.3(c))

※図示 ・・

14 金属工事

## 1. 一般事項

この章は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」14章1節から3節までによる。　[14.2.1]

## 2. ステンレスの表面仕上げ

| 種 類 | 施工箇所(手すり、タラップ、建具以外) |
|---|---|
| ※ HL程度 | |
| ・ No. 2B程度 | |
| ・ 鏡面仕上程度 | |

[14.2.2][表14.2.1]

## 3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

| 種 別、色 合 | 被膜の種別 | 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

陽極酸化被膜の着色方法　[14.2.2]

※二次電解着色　・三次電解着色　・

[14.2.3][表14.2.2]

## 4. 鉄鋼の亜鉛めっき

| 表面処理方法 | 種 別 | 施工箇所(手すり、タラップ以外) |
|---|---|---|
| 溶融亜鉛めっき | ・A種 | |
| | ・B種 | |
| | ・C種 | |
| 電気亜鉛めっき | ・D種 | |
| | ・E種 | |
| | ・F種 | |

11 左官工事

(2節 下 地)

## 1. ラス系下地

ラス系下地の種類　(15.2.3(a))

・直張りラスモルタル下地　・通気工法単層下地

・直張りラスシート下地　・通気工法二層下地

建築基準法による防火等の規定　※図示 ・　(15.2.3(a))

通気構法二層下地

ラスの種類, 重量　※2種波形ラス700 ・

外張り断熱工法で断熱材の上に胴縁を施工する形式　・行う　・行わない

通気構法単層下地　(15.2.3(d))

ラスの種類, 重量　※2種リブラス800又は2種防水紙付きリブラス800 ・

外張り断熱工法で断熱材の上に胴縁を施工する形式　・行う　・行わない

## 2. 木質系セメント板・

木質系セメント板の種類　(15.2.4(a))

・木毛セメント板　・木片セメント板 ・

## 3.小舞下地

建築基準法による耐力壁の指定　・あり（※図示 ・　）・なし　(15.2.6(a))

## 4. 木ずり下地

木ずり用小幅板の樹種　(15.2.7(a))

※ 杉（心去り材）　・

(3節モルタル塗り)

## 5. 材料・工法

・既調合モルタルを使用する　(15.3.2(d))

既製目地材の形状　・(15.3.4(b)(3))による。　・図示　(15.3.4(b))

外壁タイル張下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない　(15.3.4(d))

(4節せっこうプラスター塗)

## 6.調合及び塗厚

上塗り　・既調合プラスター(上塗り用)　・しっくい塗　(15.4.3(b))

(6節しっくい塗)

## 7.材料・下地

・既調合しっくいを使用する。（製造所：　種類：　）　(15.6.2)

下地　※(15.6.3)による　・　(15.6.3)

(7節 小舞壁塗り)

## 8. 材 料

のりの種類　(15.7.2 (e))

・土物壁の場合　（・ふのり※ つのまた・ぎんなんそう・　）

・砂壁の場合　（※ ふのり・つのまた・こんにゃくのり・にかわ・合成樹脂系混和剤）

上塗りに用いる色土の種類　・色土の種類　(15.7.2(f))

・大津仕上用の種類

・色砂の種類　(15.7.2(h))

## 9. 工 程

工程の種別　※ A種 ・ B種　(15.7.5)

## 10. 仕 上

上塗りの土物仕上工法の種類　(15.7.7(a))

・水ごね土物1工法　・水ごね土物2工法　・のりさし仕上げ工法

・のりごね仕上げ工法　・砂壁仕上げ工法　・切返し仕上げ工法

大津仕上の工法の種類　(15.7.8(a))

・普通大津仕上げ工法　・大津みがき仕上げ工法

H29.6

・特記事項

株式会社 中居都市建築設計
nakai architecture design Co.,ltd
岩手県盛岡市南大通二丁目1-20　TEL 019 - 654 - 2311

| PROJECT | SCALE | 管理建築士 | 構造設計 |
|---|---|---|---|
| 永井保育園大規模改修工事 | | 一級建築士(建設大臣)登録168463号 平谷 伸吾 | |
| TITLE | DATE | 建築士事務所登録 | 検 図 / DRAWING / SHEET NO. |
| 特記仕様書-3 | 2018.09 | 一級建築士事務所(岩手県)知事登録 第え(2212)1272号 | A-03 |